



波野駅標柱が新しく

8月18日、JR豊肥線・波野駅に「九州で一番高い高原の駅」と記した新たな標柱が立ちました。

波野駅は、九州で一番高い駅（標高754m）として昭和3年12月2日に開業し、今年で80年を迎えます。

標柱は、今回、波野一帯で国際ワークキャンプを実施した6カ国の学生等が、「シンボルの看板が老朽化しているから新しい看板が欲しい」との地元大道区長の要望を受け、ワークキャンプ10周年を記念して標柱を作製し、上下ホーム2ヶ所に設置しました。

全国菓子博で「ゆず萌え」が名誉総裁賞

育樹祭で皇太子殿下もお召し上がり！



菓子箱に書かれた文字は、45歳の若さで昨年亡くなられた内牧出身の書家・グラフィックデザイナー田島慎一さんの作品です。

4月18日から24日間にわたり兵庫県で開催された第25回全国菓子大博覧会（姫路菓子博2008）菓子コンクールで、内牧の菓匠久幸堂（青木幸治社長）が製造した「ゆず萌え」が見事、名誉総裁（寛仁親王）賞を受賞しました。2002年に熊本県で開催されたことで記憶に新しい菓子博は数年後とに開催されるため国内の菓子オリンピックとも言われています。

受賞した「ゆず萌え」は、一口サイズのしっとりした食感が特徴で、外側は黒砂糖入り生地に、中は白あんに包まれたゆずジャムが入った饅頭です。味と口どけの良さから、飛行機のスーパーシート利用客のお茶菓子として、また、昨年本市で開催された全国育樹祭では皇太子殿下のお茶菓子として出されるなど今や県が誇る銘菓となっています。受賞の喜びを「全国の有名菓子の中で、小さな店の販売から3年半の新しい菓子が選ばれ驚いています」と謙虚に語る青木社長。しかしテスト期間を2年半設け研究された成果と言えます。「ゆず萌え」は現在、阿蘇くまもと空港と久幸堂で販売されています。



中通小少年消防クラブの子どもたちが8月4日、高浜小少年消防クラブ（天草市天草町）の子どもたち22人との交流会を開催しました。

これは、少年消防クラブが存在する小学校同士で交流を図ることを目的として毎年開催されているもので、今年で16回目。毎年、交互にお互いの小学校を訪問しており、今年は高浜小が中通小を訪問したものです。

この日、中通小体育館で開会式が行われた後、両小が相互に通常点検を行

い、点検者である佐藤市長に日ごろの訓練の成果を披露しました。この他にも、両小はアゼリア21での遊泳や古代の里キャンプ村での夕食会を通して、交流を深めました。

中通小少年消防クラブが交流会を開催！

